

# 2015年3月期 決算説明会

---

ジオマテック株式会社

2015.5

# 2015年3月期業績結果について

## 業績概要《連結》

	2015.3	2014.3	前年同期比較		参考値(単体) 2015.3
			増減額	(増減率)	
売上高 (百万円)	11,164	10,347	817	( 7.9%)	9,695
営業利益 (百万円)	693	995	△ 302	(△ 30.3%)	651
経常利益 (百万円)	745	1,017	△ 272	(△ 26.8%)	716
当期純利益 (百万円)	922	979	△ 57	(△ 5.8%)	888
1株当たり純利益 (円)	116.65	122.51	△ 5.86	(△ 4.8%)	112.35
加工高 (百万円)	8,803	8,594	209	( 2.4%)	7,832

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。  
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

## 2015年3月期業績概況

---

### ➤ 市場環境

- 中小型フラットパネルディスプレイ(FPD)市場は、スマートフォン、タブレット端末が市場を牽引する状況で推移
- 但し、スマートフォン、タブレット端末の伸びは、中・低価格品を主力とする中国メーカー、一部の好調なメーカーが牽引する状況で推移
- 中小型FPD市場は、関連企業間の競争激化、上記企業のスマートフォン、タブレット端末の販売、次期製品の販売計画動向変化に伴う、中小型FPDの生産計画の変更発生など厳しい状況で推移

### ➤ 収益結果要因

- 国内収益は、帯電防止膜の大幅な販売価格低下、同製品の受注数量の伸び悩み、新規装置の償却負担増などを吸収しきれなかったことから減益
- 中国子会社は、スマートフォン向け加飾膜の受注減少により減益

# 財務概要

	2015.3	2014.3	前期末比較		参考値(単体) 2015.3
			増減額	(増減率)	
総資産 (百万円)	33,739	29,568	4,171	( 14.1%)	33,068
純資産 (百万円)	19,484	18,079	1,405	( 7.8%)	18,943
自己資本比率 (%)	57.8	61.1	△ 3.3	(△ 5.4%)	57.3
1株当たり純資産 (円)	2,463.22	2,285.51	207.99	( 7.8%)	2,394.73

# キャッシュフロー概要

	2015.3	2014.3	前年同期比較	
			増減額	(増減率)
営業活動によるCF (百万円)	2,094	2,311	△ 217	(△ 9.4%)
投資活動によるCF (百万円)	△ 1,107	△ 925	182	( 19.6%)
財務活動によるCF (百万円)	△ 130	△ 516	△ 386	(△ 74.8%)
現金及び同等物残高 (百万円)	10,588	9,660	928	( 9.6%)
(同借入金相殺後) (百万円)	7,446	6,625	821	( 12.4%)
設備投資額 (百万円)	1,001	1,339	△ 338	(△ 25.2%)
減価償却費 (百万円)	1,111	974	137	( 14.1%)

## 2015年3月期 製品概況

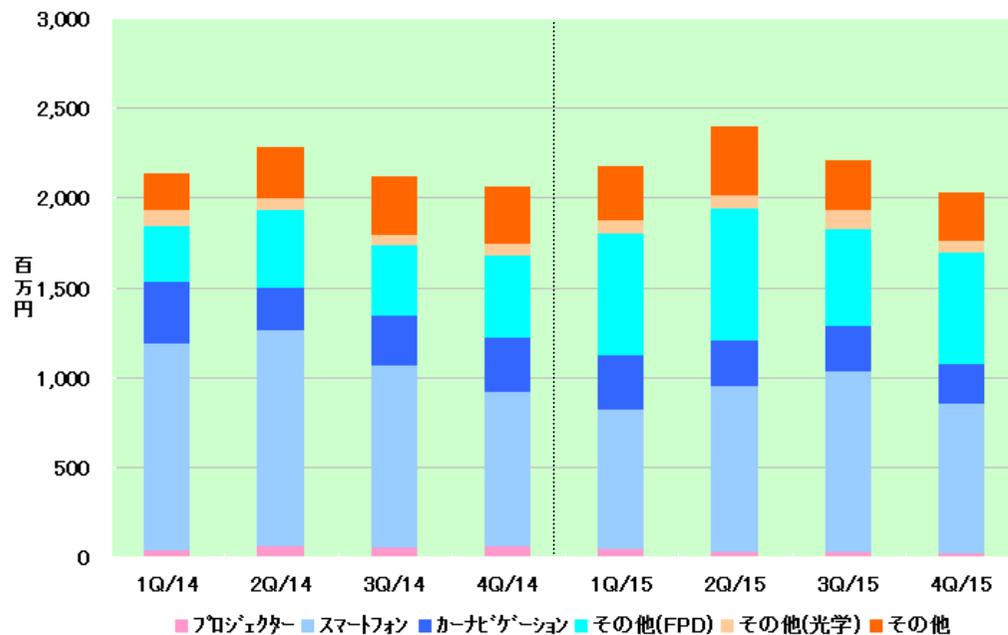
- 液晶パネル用基板(帯電防止膜) (前期比 112.3%)
  - 上期はスマートフォン・タブレット端末向けで好調に推移するものの、下期は生産調整の影響を受け厳しい状況で推移
- タッチパネル用基板(抵抗方式) (前期比 97.9%)
  - カーナビゲーション向けで数量は安定的に推移
- タッチパネル用基板(静電容量方式) (前期比 96.0%)
  - 上期:ゲーム機器向けが牽引、下期:スマートフォン・タブレット端末向けが牽引
- 有機EL用基板 (前期比 101.4%)
  - 携帯電話(サブディスプレイ)、照明機器用途で数量は安定的に推移
- 光学機器用部品 (前期比 128.9%)
  - デジタルカメラ向け反射防止や照明機器向け光学製品が好調に推移
- その他 (前期比 87.4%)
  - スマートフォン向け加飾膜やマスク blanks向け薄膜の受注が減少

※( )内の比率は、加工高の前期比率を表します。

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

# 加工高推移

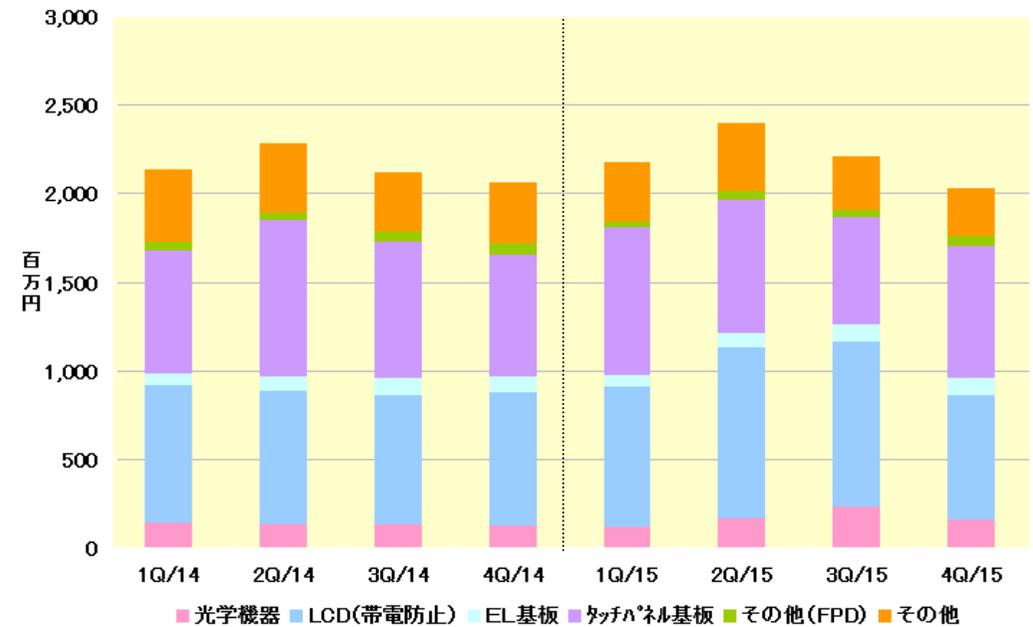
## 最終製品別加工高推移



← 14.03期実績 →

← 15.03期実績 →

## 品目別加工高推移



← 14.03期実績 →

← 15.03期実績 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

# 2016年3月期業績見通しについて

# 市場環境について

## 競争環境における機会

- 円安による輸出競争力
- TPインセル化等の薄膜技術付加価値の増加
- 車載向けFPD加工の案件増加

## 競争環境における脅威

- スマートフォン需要の成熟化
- 低価格品の普及
- 中小型液晶パネルの企業間競争激化
- 競合メーカーの低価格攻勢

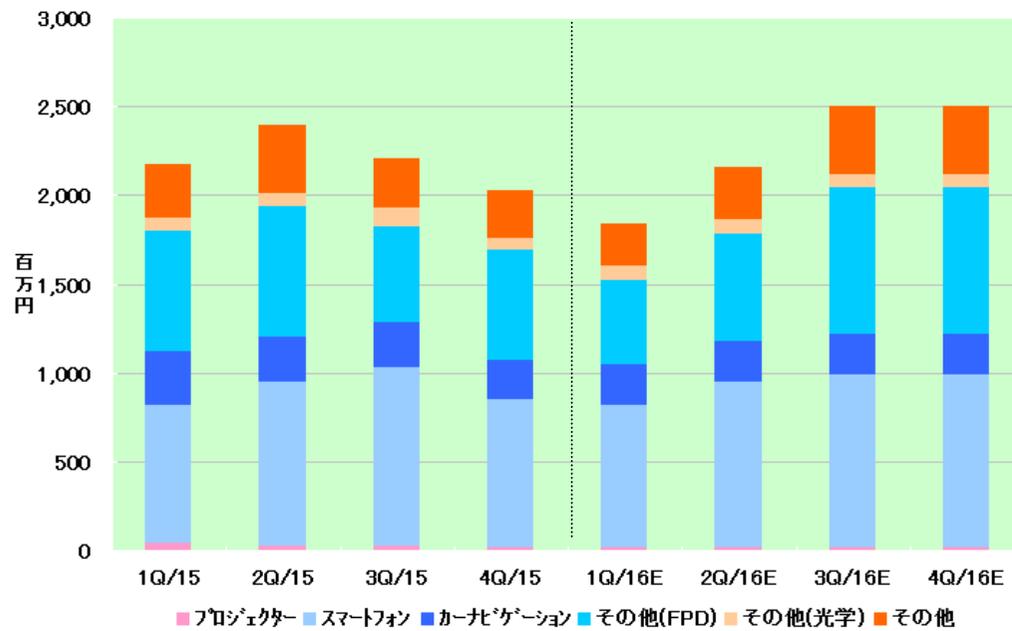
**FPD事業における原価低減 FPD以外の付加価値技術への積極対応**

# 2016年3月期業績見通し

	2016.3	2015.3	前年同期比較		参考値(単体) 2016.3
			増減額	(増減率)	
売上高 (百万円)	11,300	11,164	136	( 1.2%)	9,300
営業利益 (百万円)	700	693	7	( 0.9%)	660
経常利益 (百万円)	750	745	5	( 0.6%)	700
純利益 (百万円)	600	922	△ 322	(△ 35.0%)	560
加工高 (百万円)	9,000	8,803	197	( 2.2%)	7,900
研究開発費 (百万円)	500	447	53	( 11.8%)	500
設備投資額 (百万円)	880	1,001	△ 121	(△ 12.1%)	850
減価償却費 (百万円)	1,150	1,111	39	( 3.5%)	1,020

# 加工高見通し

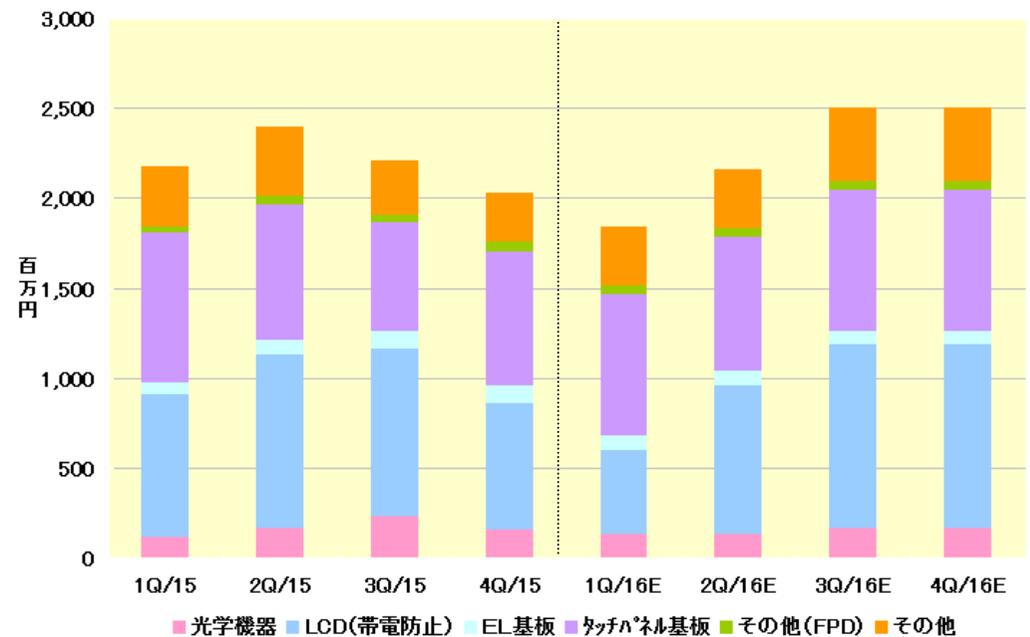
### 最終製品別加工高推移



← 15.03期 実績 →

← 16.03期 見込み →

### 品目別加工高推移



← 15.03期 実績 →

← 16.03期 見込み →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

# 取り組みについて

---

## ■ 既存分野への取り組み

- 自動化等による工場生産性の全体最適の推進
- インセル型TPやFPD以外のスマートフォン関連の薄膜技術への対応
- Film型TPの付加価値技術の展開

## ■ 新規分野への取り組み

- 車載用FPDへの積極的な技術対応と販売展開
- 各種センサー素子等の試作・小ロット品の生産性向上
- 円筒管内成膜技術や新たな加工技術による技術力の向上
- 医療分野等の新市場への成膜製品展開

# 注意事項

- ・ 情報提供の目的

当資料の目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。なお、掲載されている情報は、細心の注意を払って作成しておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当資料のご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

- ・ 将来予測に関する考え方

当資料に掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。